

# 新日軽 **メッシュ門扉S型** 施工説明書

この度は、当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
正しい施工をしていただく為この施工説明書をお読みください。  
施工完了後はお施主様へお渡しください。

## ◎組立・施工の前に

- 本施工説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全を確保する上で重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行なってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この施工説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

## ○注意(設置場所・設置位置について)

- 開閉操作の際には、手足や衣服などをはさまれないよう注意してください。はさまれると怪我をする恐れがあります。
- 門扉を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
- 開閉操作の際は、周囲に人や物がいないことを必ず確認してください。又、開閉操作はゆっくり行ってください。扉に人がはさまれ、事故の発生する恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。
- 基礎は弊社指定寸法以上にしてください。
- 地下埋設物（給排水管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。

## ○施工時の注意事項

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。また、モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物、珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液はアルカリ性で、シミやムラ等の外観不良や腐食の原因になりますので工事中に商品に付着しないようご注意ください。
- 養生期間は十分(4日~1週間)にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。

## — 目次 —

組立・施工の前に	1	5	錠の取付け	9
注意(設置場所・設置位置について)	1	6	落とし棒・落とし棒ガイド・落とし棒	9~10
施工時の注意事項	1		取付け孔塞ぎカバーの取付け	
梱包明細	2	7	孔塞ぎシールの貼付け	11
納まり図	3	8	扉の吊込み	11~12
各部の名称	4	9	戸当りの取付け	12~13
組立手順		10	ヒンジの調整	13
1 開きの確認	5	11	キャップ類の取付け	14
2 門柱部品の取付け	5~6	12	受けツボの施工	14
3 門柱の埋込み	7	13	門柱へのメッシュフェンス	15~16
4 扉の組立て	8		の取付け	

# 梱包明細

## メッシュパネル

※表中の○数字は、数量を示します。

名称	巾	高さ	梱包内容
メッシュパネル	08	H15	メッシュパネル①
	10		
	08	H18	
	10		

## 縦框セット

名称	梱包内容
縦框セット(片開き用)	縦框(錠前側)①、縦框(吊元側)①、片開き錠受け框①、組立ビス(トラス小ネジ)M5×35 ⑧ 縦框キャップ⑥、框組立補強材④、M6×20ボルト②④、M6バネ座金②④、M6平座金④⑥、 M6六角ナット⑩⑥、ケースライナー②、ストライクライナー②、ストライク取付ビス(皿小ネジ)M4×20② 片開き錠受け框補強材②、片開き錠受け框補強材取付ビス(トラス小ネジ)M4×10② 片開き錠受け框補強材取付ビス(トラス小ネジ)M5×35⑧、孔穴フサギシール④、扉用中間金具④ 中間押え金具④、孔塞ぎキャップ⑧、ヒンジ固定台座⑥、ヒンジ固定台座取付ビス(皿小ネジ)M4×12⑥
縦框セット(両開き用)	縦框(錠前側)①、縦框(吊元側)②、縦框(錠受側)①、組立ビス(トラス小ネジ)M5×35 ⑩ 縦框キャップ⑦、框組立補強材⑧、M6×20ボルト④⑧、M6バネ座金④⑧、M6平座金⑥⑩、 M6六角ナット⑩⑧、ケースライナー②、ストライクライナー②、ストライク取付ビス(皿小ネジ)M4×20② 孔穴フサギシール⑧、扉用中間金具⑧、中間押え金具⑧、落し棒本体① 落し棒取付ビス(トラス小ネジ)Φ4×12 ②、落し棒ガイド①、落し棒ガイド取付ビス(トラス小ネジ)Φ4×12 ② 受け壺①

## 戸当りセット

名称	梱包内容
戸当りセットH15(R,L)	錠前側戸当り①、錠受け側戸当り①、戸当り固定裏板⑭、戸当り固定裏板取付ビス(トラスビス)M4×8 ⑭ 落し棒取付孔フサギカバー①、落し棒取付孔フサギカバー取付ビス(トラス小ネジ)M4×10 ②
戸当りセットH18(R,L)	錠前側戸当り①、錠受け側戸当り①、戸当り固定裏板⑯、戸当り固定裏板取付ビス(トラスビス)M4×8 ⑯ 落し棒取付孔フサギカバー①、落し棒取付孔フサギカバー取付ビス(トラス小ネジ)M4×10 ②

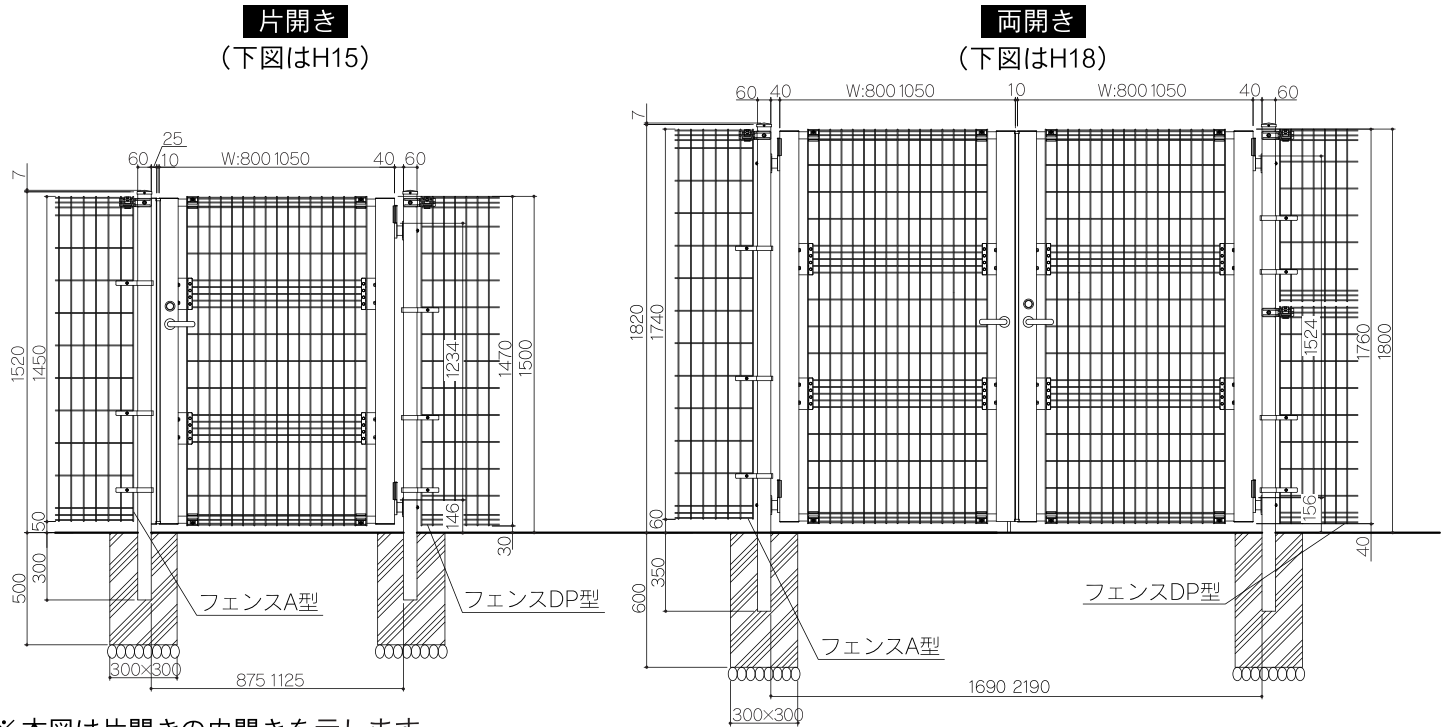
## 門柱セット

名称	高さ	梱包内容
門柱セット(片開き用)	H15	門柱②、門柱用ヒンジ100(上下)各①、柱キャップ②、柱キャップ取付ビス(セルフドリリングビス)Φ4×16 ④ フェンス上部取付金具②、胴縁押え金具④、フェンス上部取付金具取付ボルト(六角ボルト)M8×20 ⑥ M8バネ座金⑥、M8平座金⑥、M6×50ボルト②、M6バネ座金④、M6平座金④、M6ナット② フェンス中間取付金具A⑥、フェンス中間取付金具B⑥、M6×16ボルト⑥、M6バネ座金⑩、M6平座金⑥ M6六角ナット⑥、本施工説明書①
	H18	門柱②、門柱用ヒンジ100(上下)各①、柱キャップ②、柱キャップ取付ビス(セルフドリリングビス)Φ4×16 ④ フェンス上部取付金具④、胴縁押え金具⑧、フェンス上部取付金具取付ボルト(六角ボルト)M8×20 ② M8バネ座金⑩、M8平座金⑩、M6×50ボルト④、M6バネ座金⑧、M6平座金⑧、M6ナット④ フェンス中間取付金具A⑧、フェンス中間取付金具B⑧、M6×16ボルト⑧、M6バネ座金⑯、M6平座金⑧ M6六角ナット⑧、本施工説明書①
門柱セット(両開き用)	H15	門柱②、門柱用ヒンジ100(上下)各②、柱キャップ②、柱キャップ取付ビス(セルフドリリングビス)Φ4×16 ④ フェンス上部取付金具②、胴縁押え金具④、フェンス上部取付金具取付ボルト(六角ボルト)M8×20 ⑥ M8バネ座金⑥、M8平座金⑥、M6×50ボルト②、M6バネ座金④、M6平座金④、M6ナット② フェンス中間取付金具A⑥、フェンス中間取付金具B⑥、M6×16ボルト⑥、M6バネ座金⑩、M6平座金⑥ M6六角ナット⑥、本施工説明書①
	H18	門柱②、門柱用ヒンジ100(上下)各②、柱キャップ②、柱キャップ取付ビス(セルフドリリングビス)Φ4×16 ④ フェンス上部取付金具④、胴縁押え金具⑧、フェンス上部取付金具取付ボルト(六角ボルト)M8×20 ② M8バネ座金⑩、M8平座金⑩、M6×50ボルト④、M6バネ座金⑧、M6平座金⑧、M6ナット④ フェンス中間取付金具A⑧、フェンス中間取付金具B⑧、M6×16ボルト⑧、M6バネ座金⑯、M6平座金⑧ M6六角ナット⑧、本施工説明書①

# 納まり図

※ 本図は片開きH15及び両開きH18の外観を示します。

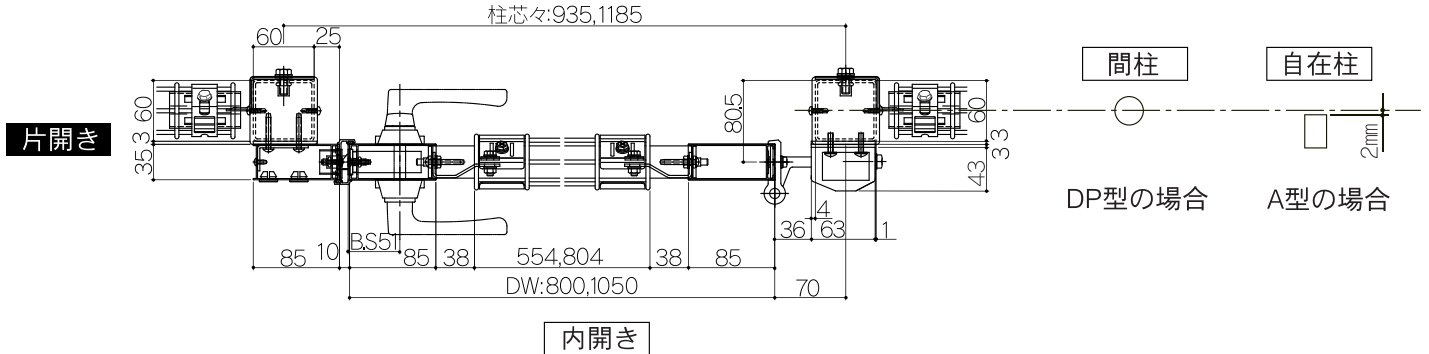
※ 本製品は扉本体が現場組立てとなっております。左右の開き勝手をはじめに設定し、扉・門柱の組立てを行ってください。



※ 本図は片開きの内開きを示します。

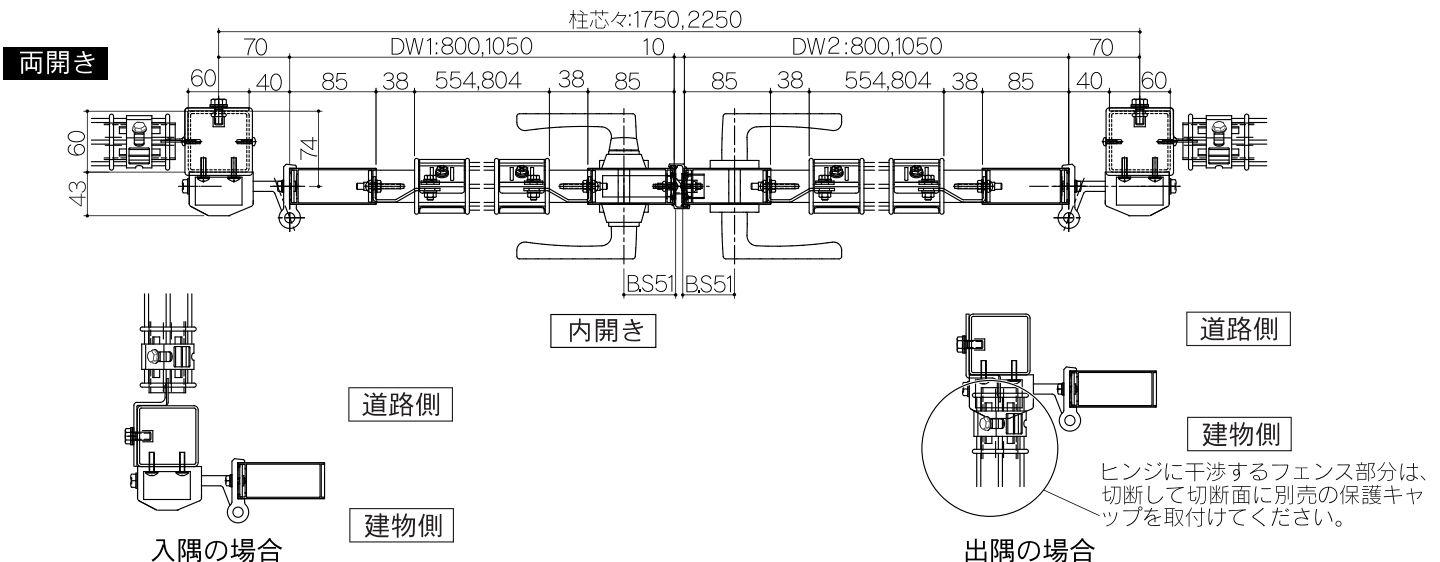
※ 門柱に接続可能なフェンスは、A型、DP型です。また門柱芯とフェンス芯が合うように納めてください。

※ 片開き戸当り門柱側は、フェンス接続納まりについて入隅、出隅ともに不可です。



※ 本図は両開きの内開きを示します。

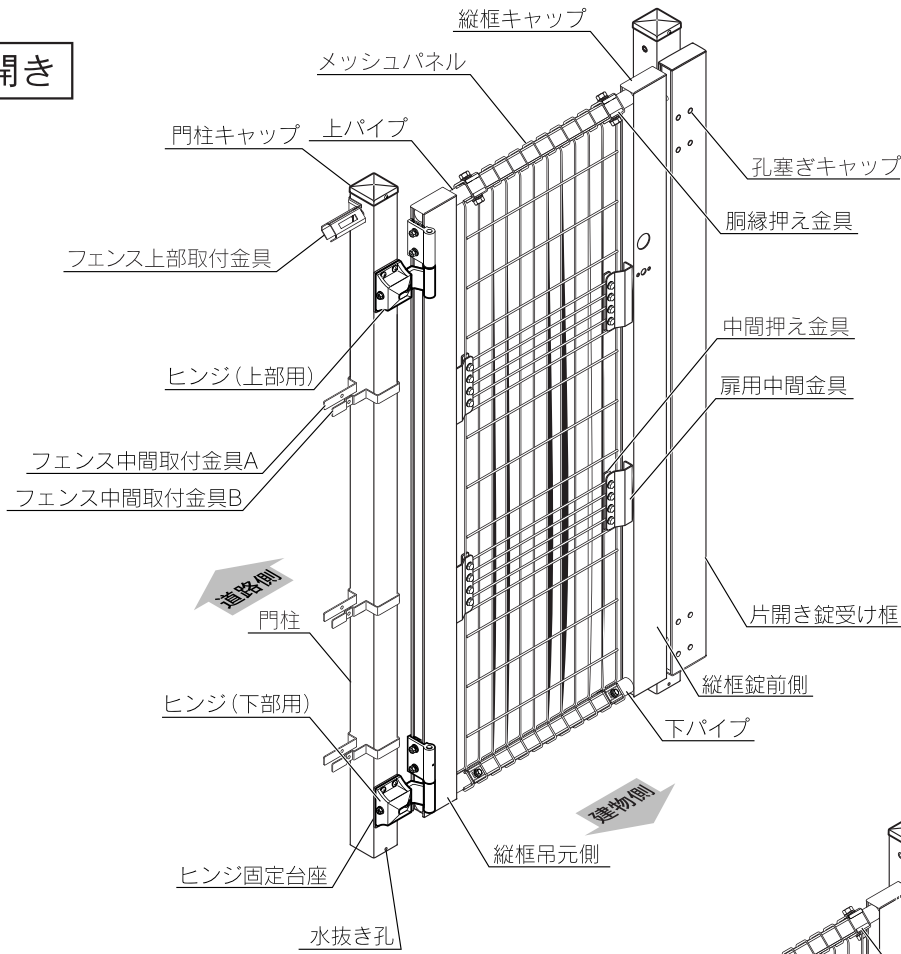
※ 吊元側は、入隅、出隅納まり共に可能ですが、出隅の場合はヒンジ部分のフェンスを切り欠き、切断面に別売の保護キャップを取付けてください。



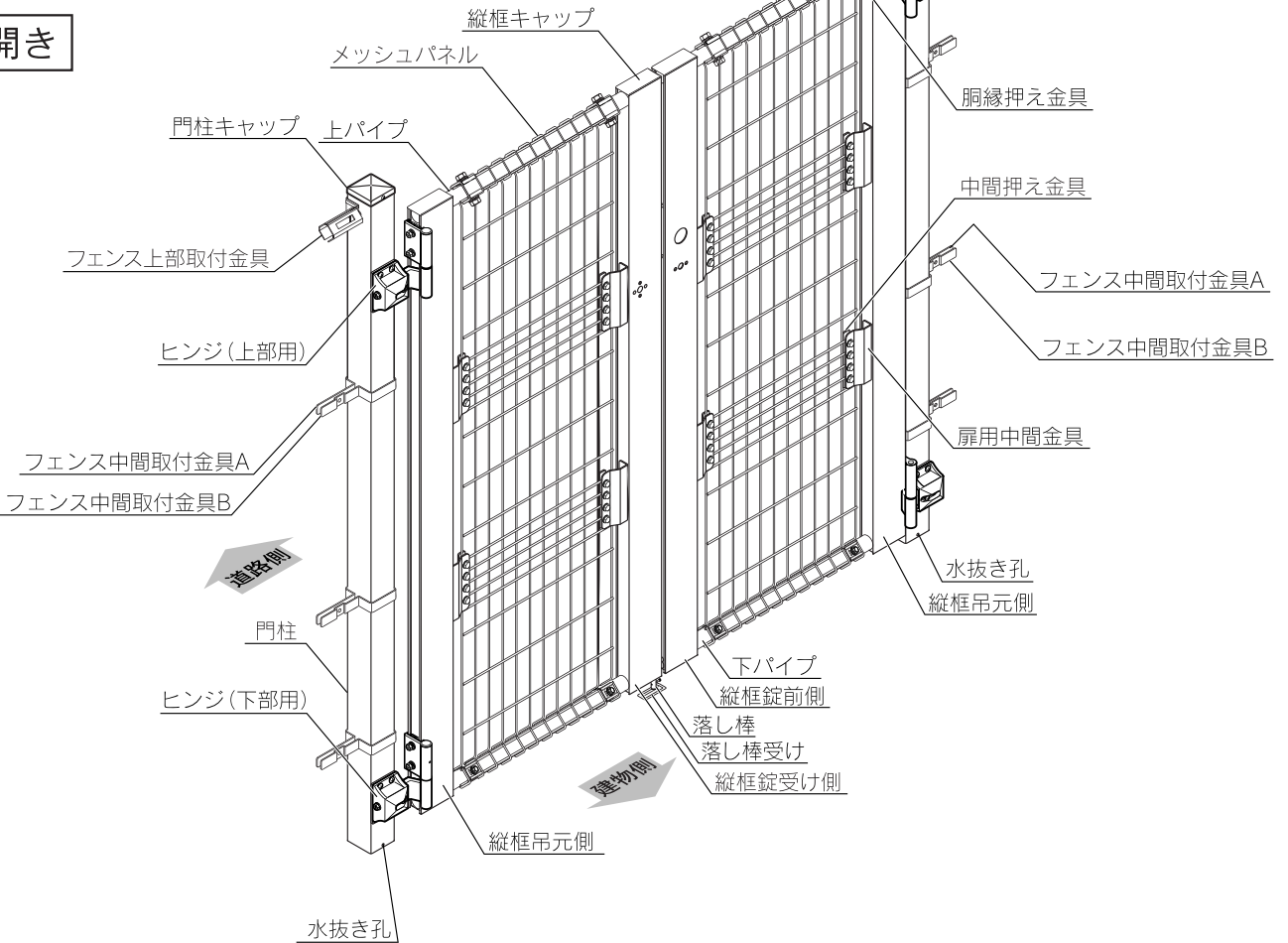
# 各部の名称

※ 本図は片開き及び両開きの内開き内観を示す。

## 片開き



## 両開き



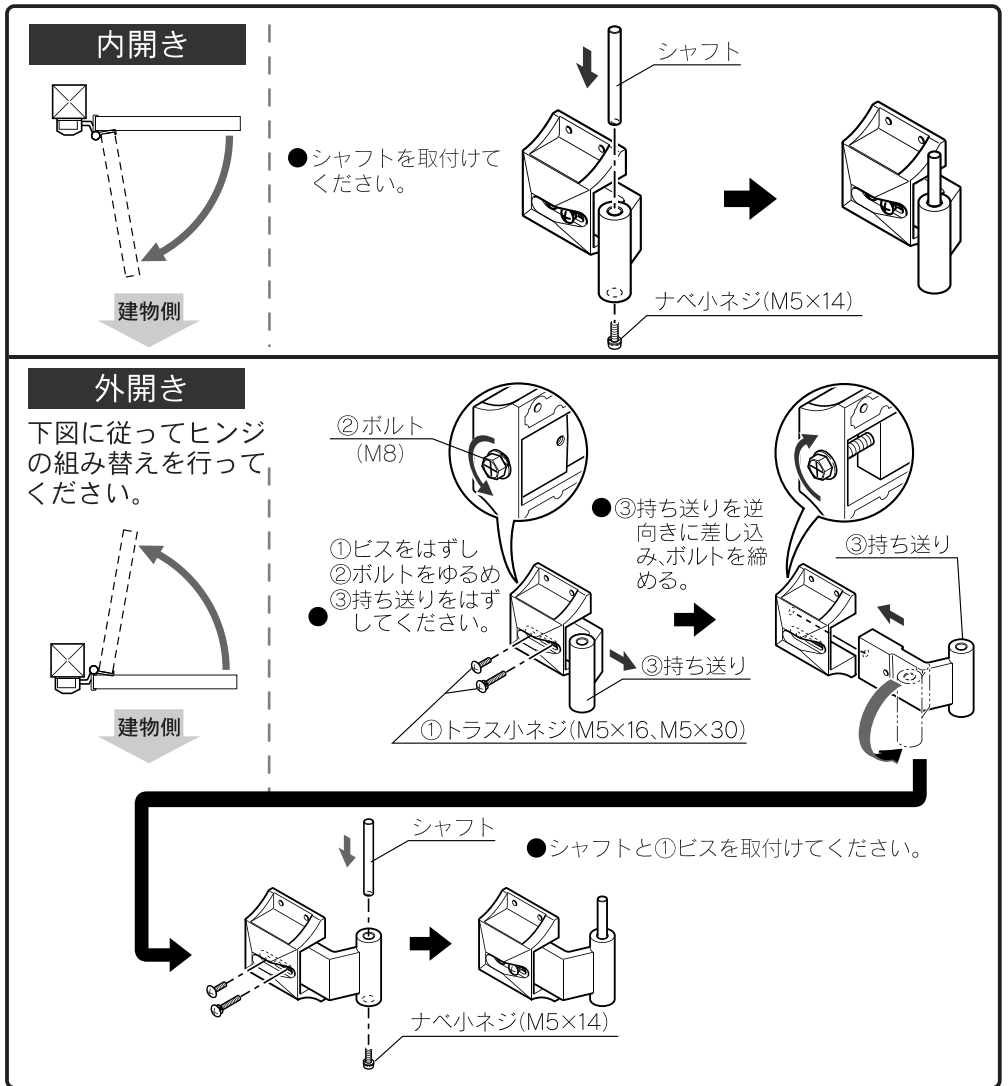
# 組立手順

## 1 開きの確認

※ 施工に取り掛かる前に、門扉の開き勝手を確認してください。



現場で組み替えを行うだけで内開き、外開きに対応出来ます。(標準では、内開きの状態で梱包されています。)



## 2 門柱部品の取付け

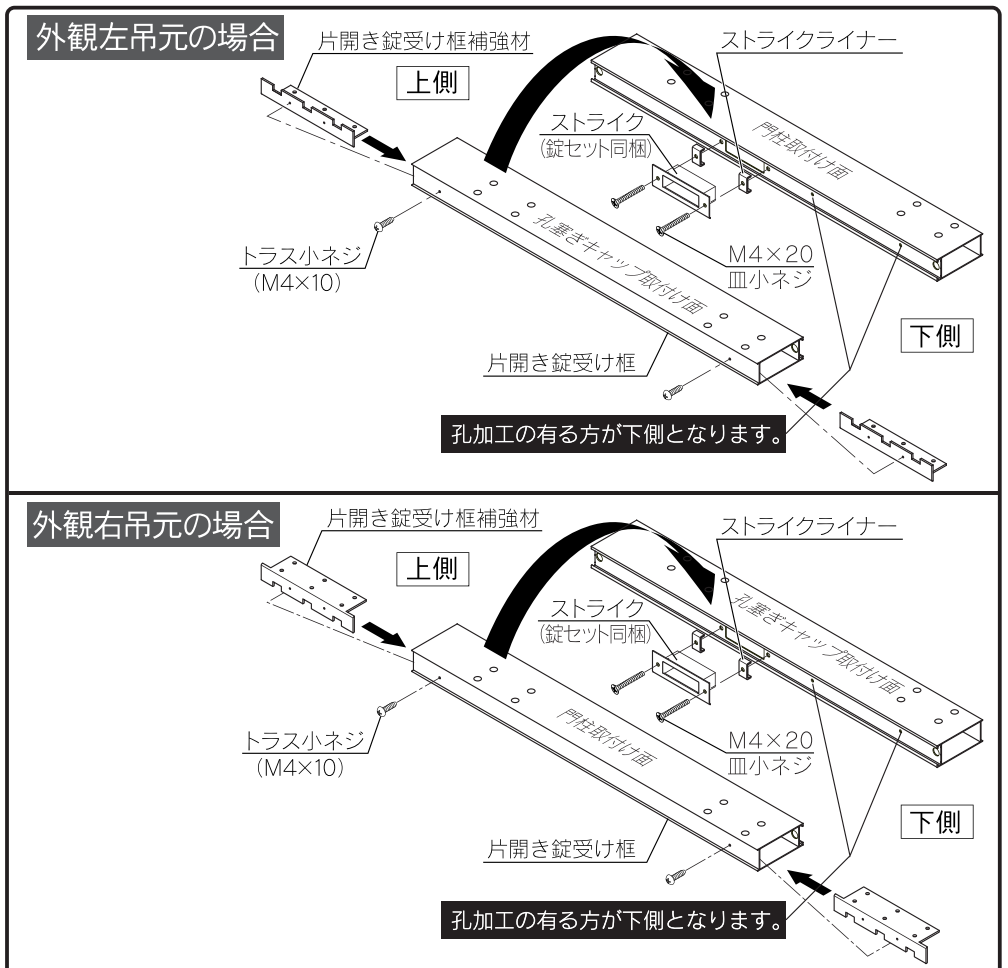
### 片開きの場合

#### 1) 片開き錠受け框への部品の取付け

片開き錠受け框の上部、下部へ図の様に片開き錠受け框補強材を取付けてください。又、ストライクをストライクライナーを介して取付けてください。



ストライクライナーとM4×20皿小ネジは、縦框部品セットの中に入っています。ストライクはLA錠に同梱されている物をご使用ください。



## 片開きの場合

### 2) 門柱部品の取付け

②-1で組立た片開き錠受け框及び  
ヒンジをヒンジ固定台座と共に門柱  
に取付けてください。

片開き錠受け框側は、ビス止め後孔  
塞ぎキャップを取付けてください。  
(8ヶ所)

**👉** 片開き錠受け框を取付ける前  
に必ずフェンス中間取付金具B  
を3個、門柱との間に挿入しておい  
てください。(接続するフェンス  
がH18DP型の場合は4個)

**👉** ヒンジには上部用と下部用が  
あります。上下を確認して取  
付けを行ってください。



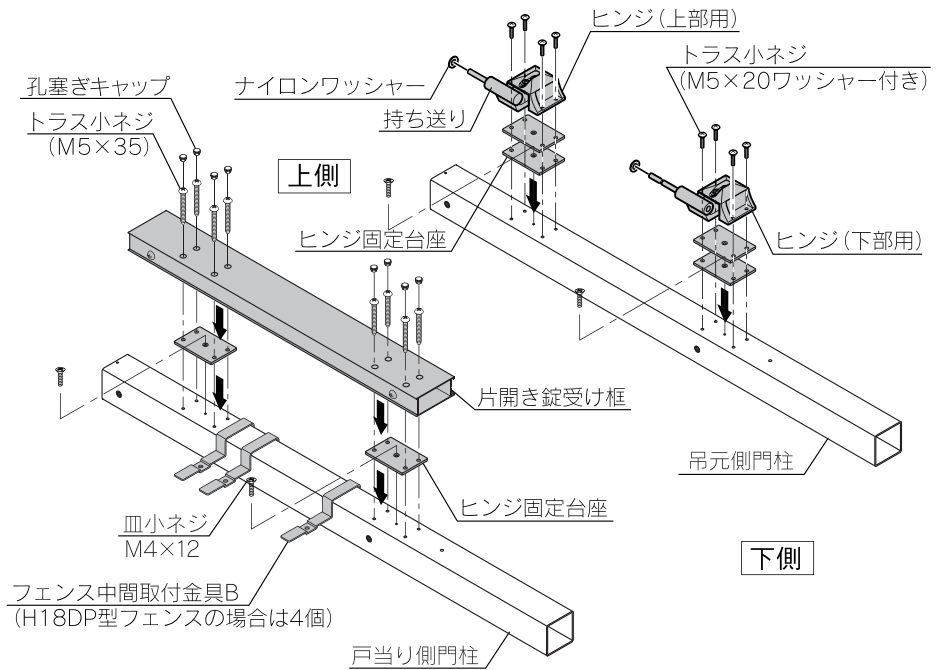
ヒンジ上部用

ヒンジ下部用

**👉** ヒンジ側のヒンジ固定台座は  
2枚重ねて取付けてください。  
また台座は、同梱のM4×12皿タッ  
ピングビスで仮固定してください。

●ヒンジが建物側にくるように門柱を施工してください。

※門柱には「右勝手」「左勝手」はありません。施工の際、現場条件にあわせヒンジ、  
片開き錠受け框の向きを決定してください。(本図は外観左吊元の場合)

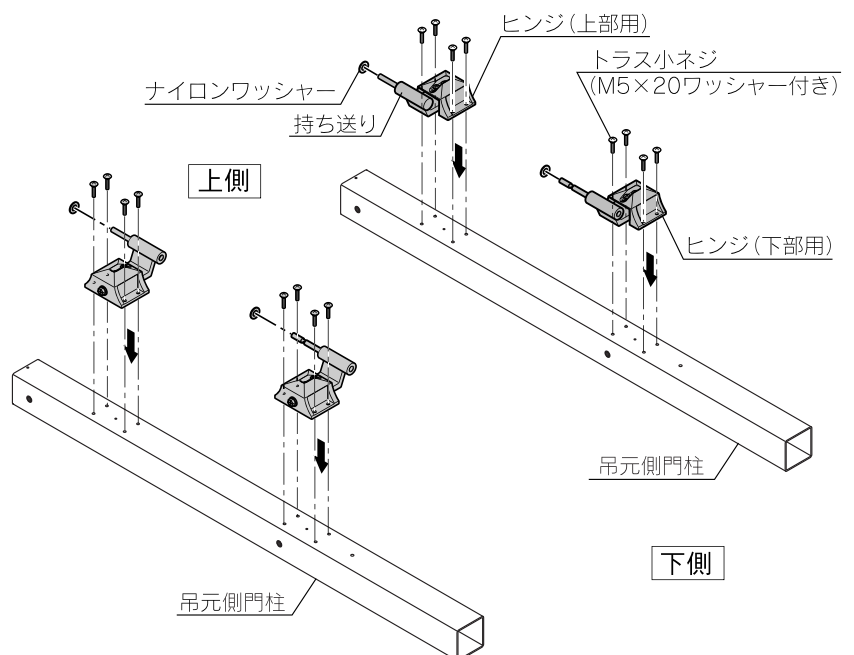


## 両開きの場合

### 3) 門柱部品の取付け

●ヒンジが建物側にくるように門柱を施工してください。

※門柱には「右勝手」「左勝手」はありません。



### 3 門柱の埋込み

#### 片開きの場合

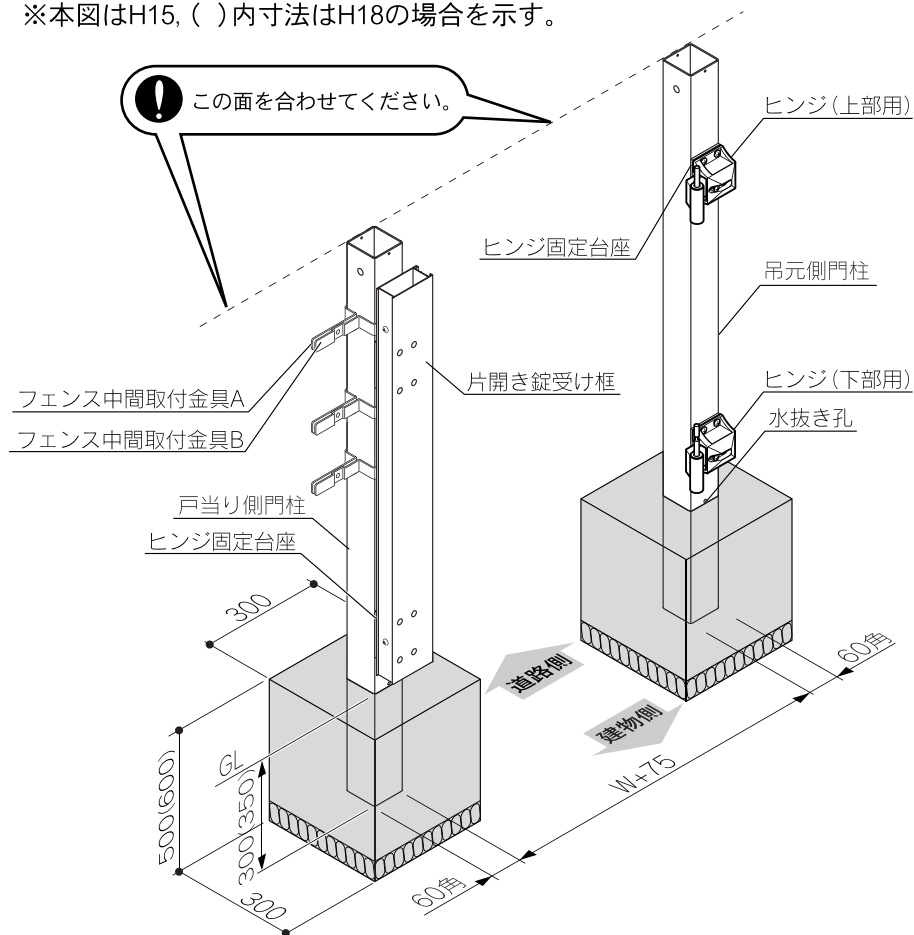
#### 1) 片開き用門柱の埋込み

右図を参考に門柱を埋込んでください。



- 門柱の埋込みは、レベル合わせを正確に行ってください。扉の吊り込みが出来なかったり施錠不良の原因になります。
- コンクリート打ちは、門扉の吊り込み後、位置を決めてから行ってください。
- 門柱の垂直、水平及び位置出しは、正確に行ってください。

- ヒンジが建物側にくるように門柱を施工してください。  
※本図はH15、( )内寸法はH18の場合を示す。

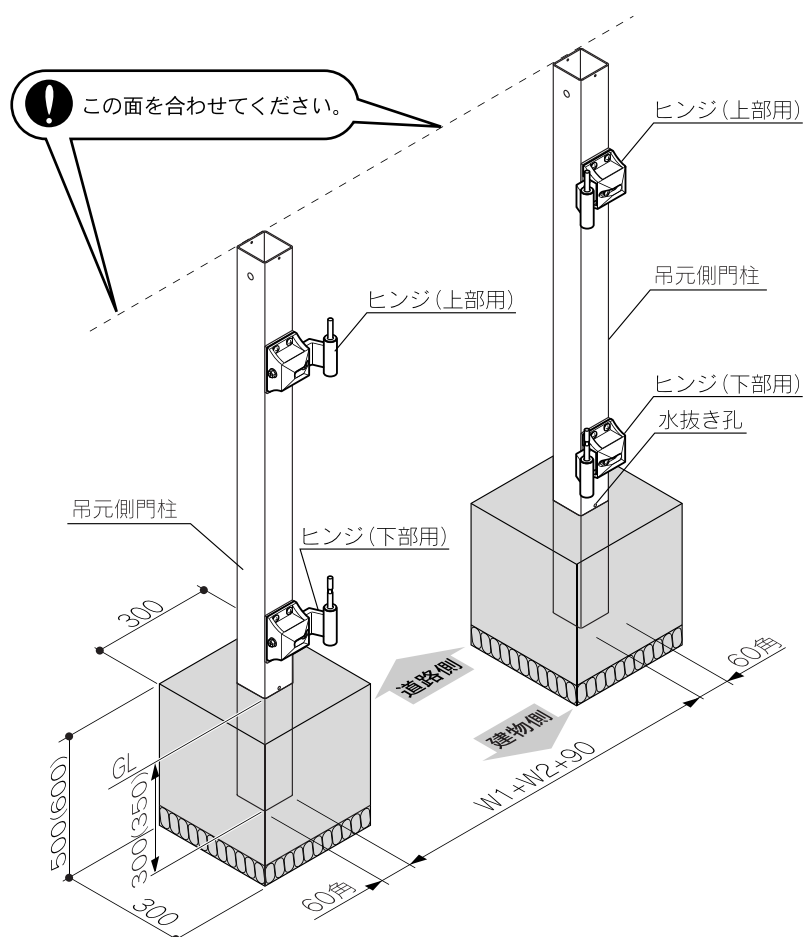


#### 両開きの場合

#### 2) 両開き用門柱の埋込み

右図を参考に門柱を埋込んでください。

- ヒンジが建物側にくるように門柱を施工してください。  
※本図はH15、( )内寸法はH18の場合を示す。



## 4 扉の組立て

### 錠前・錠受側扉の組立て

(片開き・両開き共通)

#### 1) メッシュパネルと縦框の組立て

両開き片開き共に開き勝手をもう一度確認し、縦框とメッシュパネルの組立てを行ってください。

#### 2) 扉用中間金具の取付け

縦框に扉用中間金具をM6×20ボルトで取付けてください。扉用中間金具は、家側になるよう取付けてください。



メッシュ門扉組立て前に、メッシュパネルの表面、裏面に注意して組立ててください。

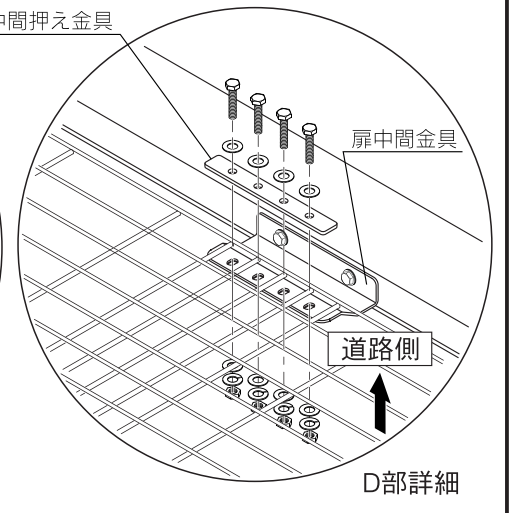
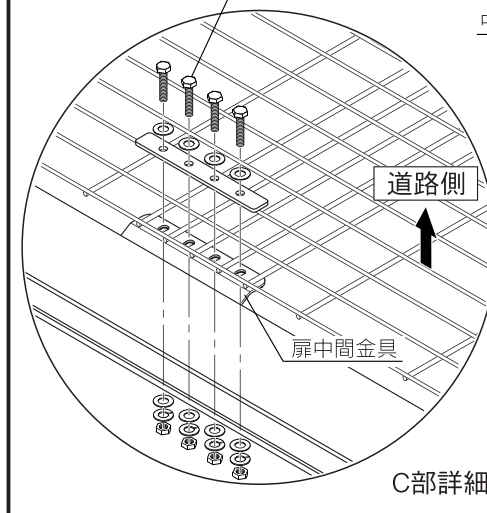
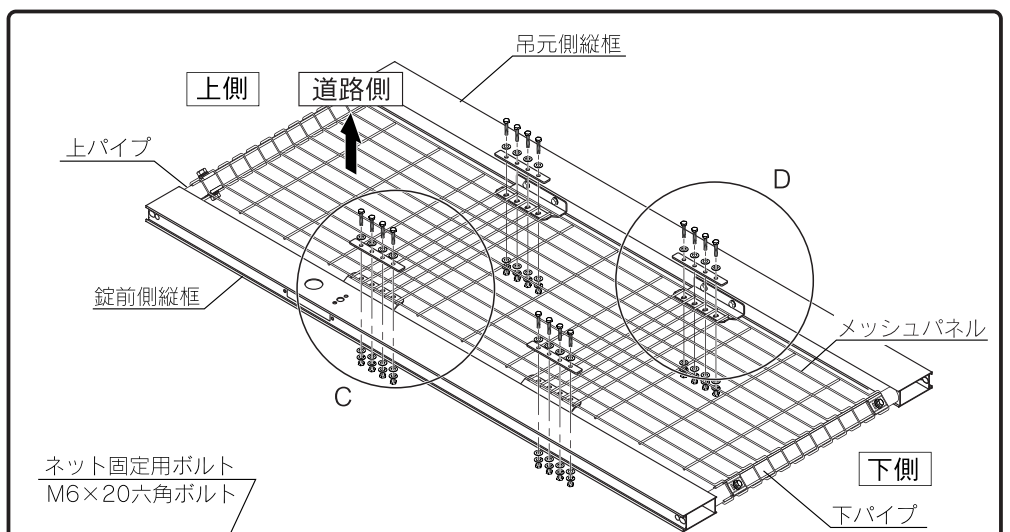
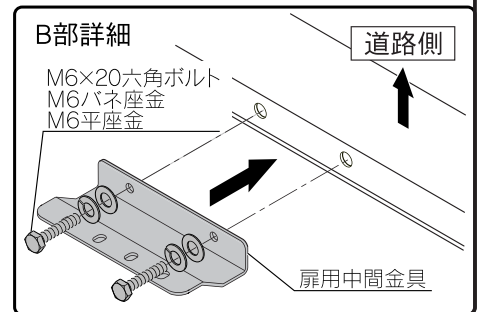
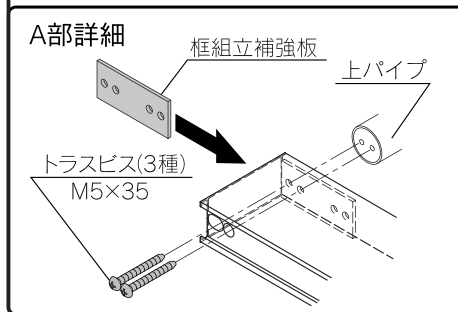
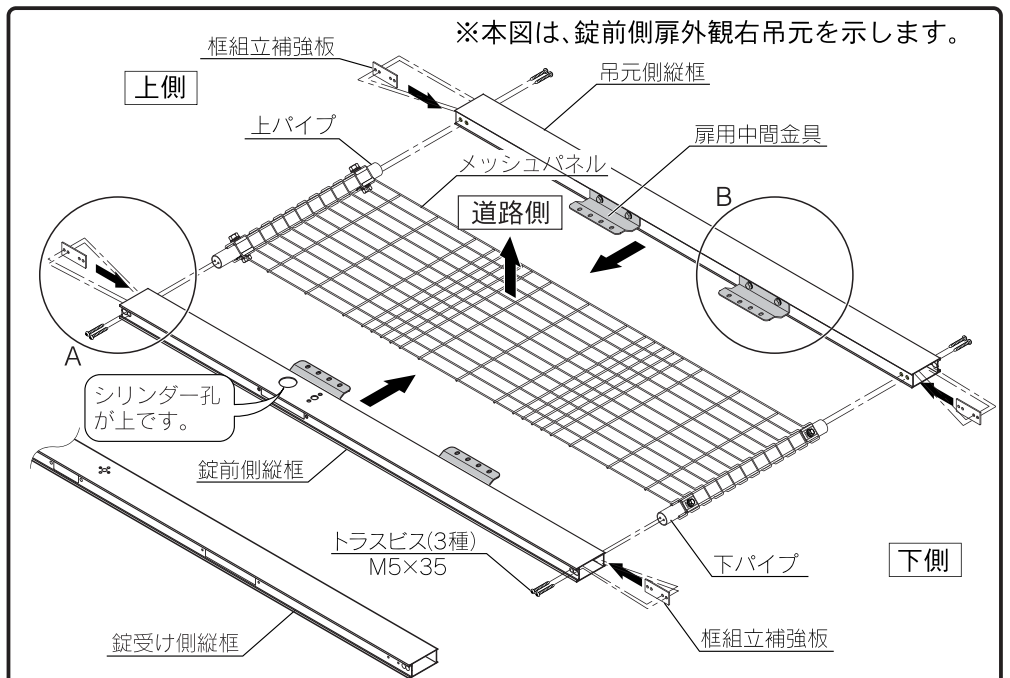
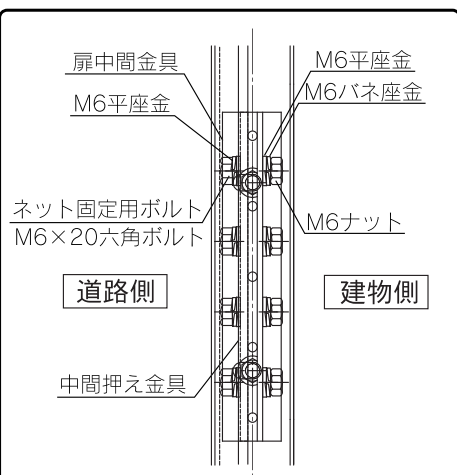


#### 3) 框組立補強板の取付け

縦框の上部、下部に框組立補強板をそれぞれ挿入し、M5×35トラスビス(3種)にてメッシュパネルの上下パイプに固定してください。

#### 4) 扉用中間金具とメッシュパネルの固定

中間押え金具とM6×20六角ボルトにてネット部をはさむ様に固定してください。





## 5 錠の取付け

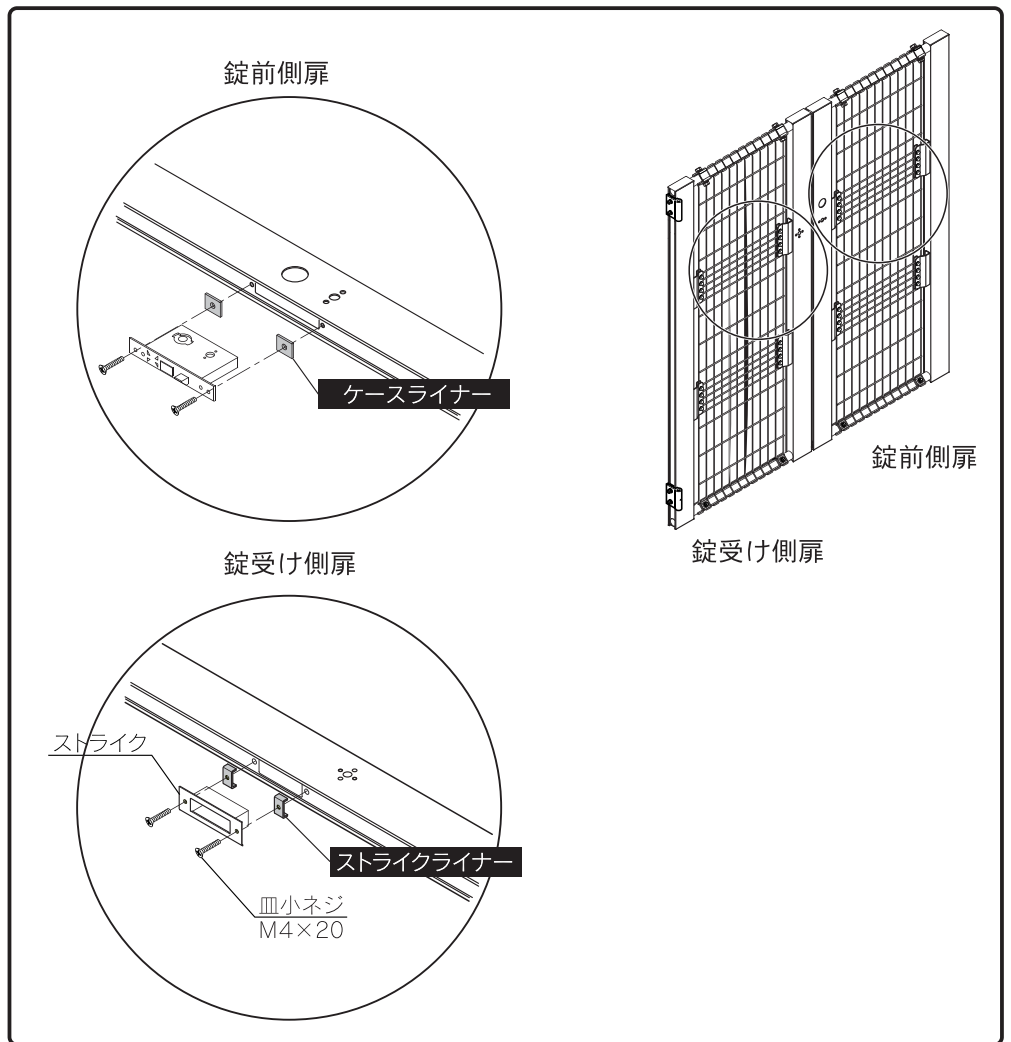
### 錠前・錠受け側扉への スペーサーの取付け

#### 1) スペーサーの取付け

錠前側、錠受け側共に取付ける際は、  
ケースライナー、ストライクライナー  
を使って取付けてください。



錠の取付け方法は、錠の取扱い説  
明書を参照してください。

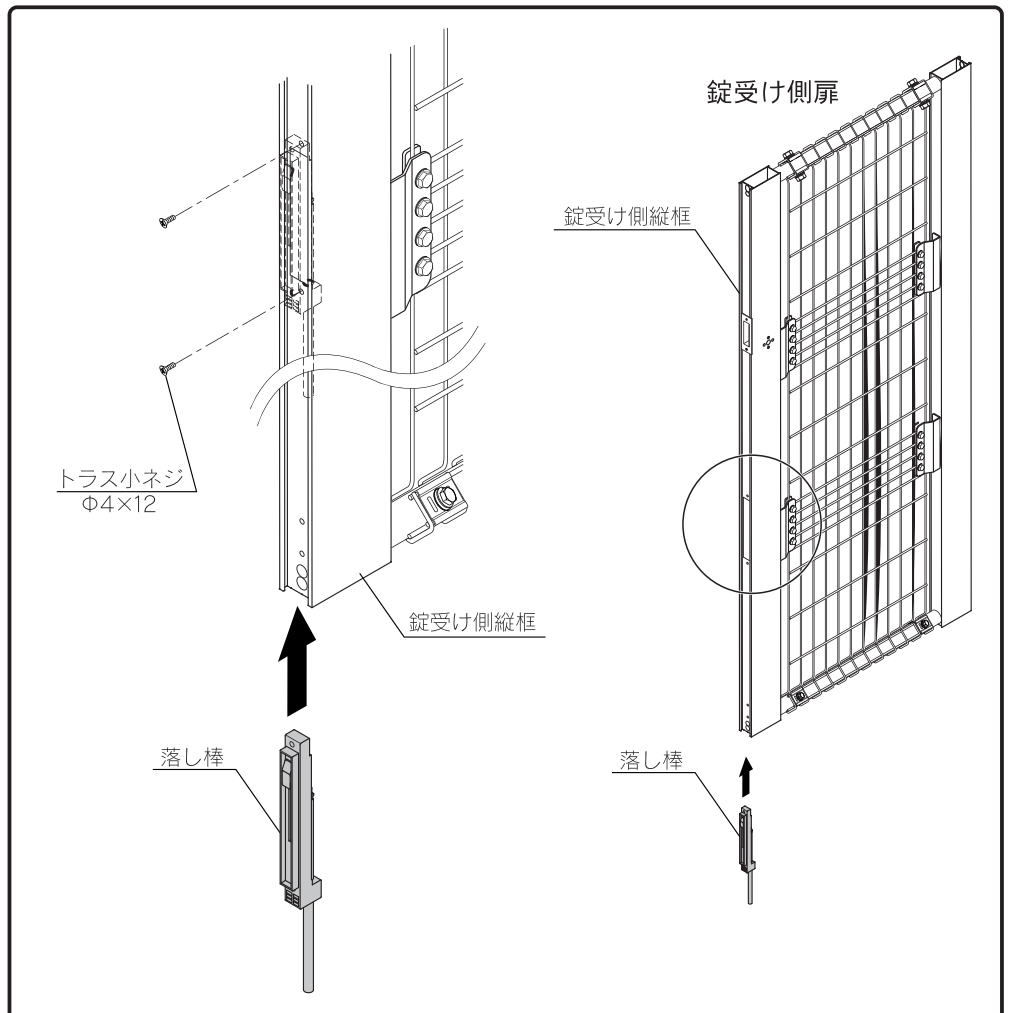


## 6 落とし棒・落とし棒ガイド ・落とし棒取付け孔塞 ぎカバーの取付け

### 錠受け側扉への取付け (両開きの場合)

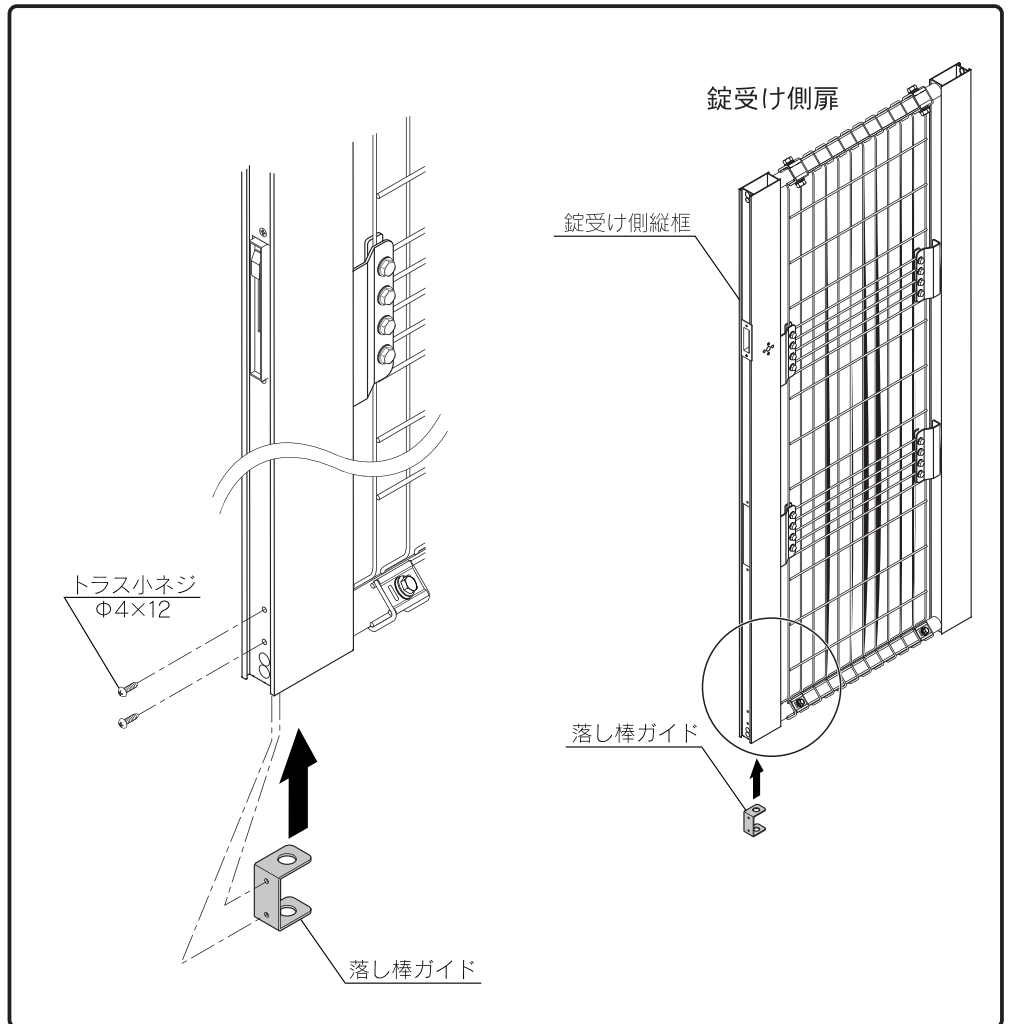
#### 1) 落とし棒の取付け

落とし棒を錠受け側縦框の下部より挿  
入し、ビス止めしてください。

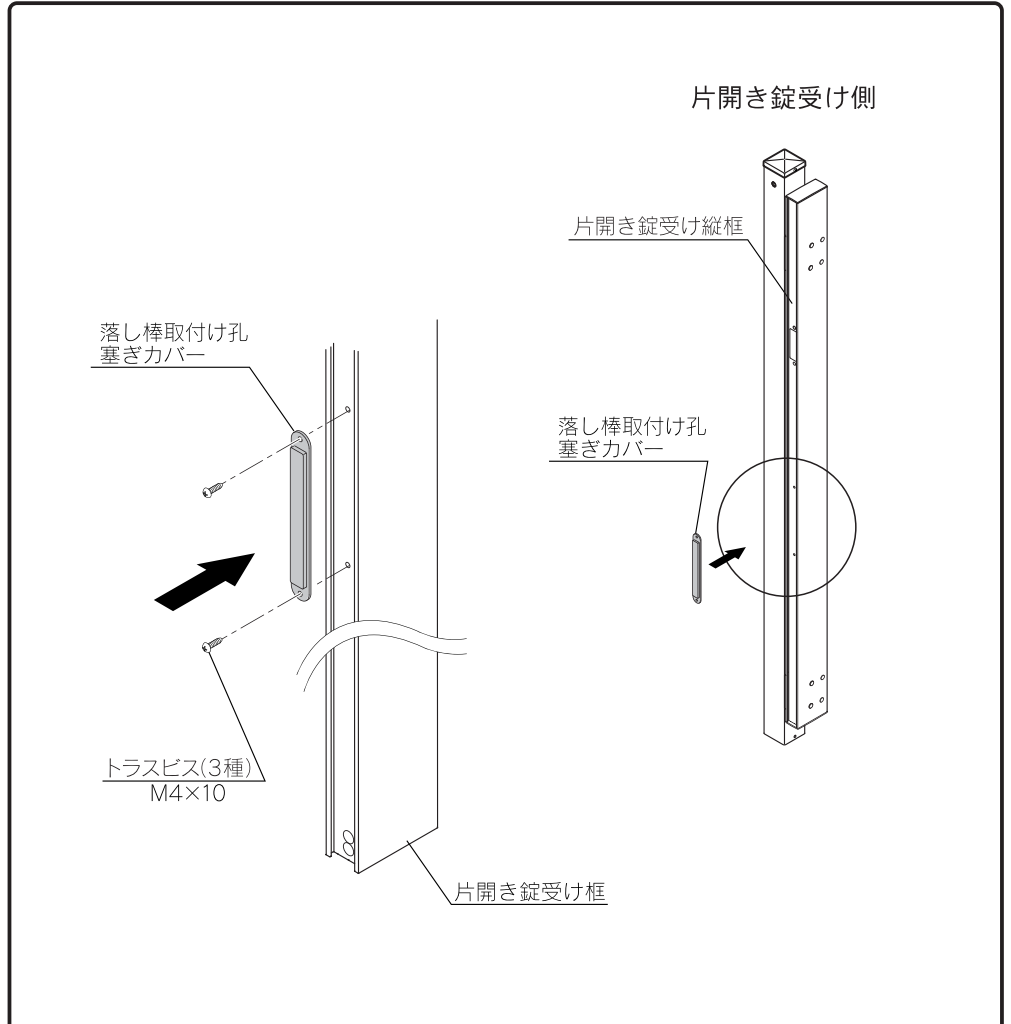


## 2) 落とし棒ガイドの取付け

落とし棒ガイドを錠受け縦框の下部より挿入しビス止めしてください。



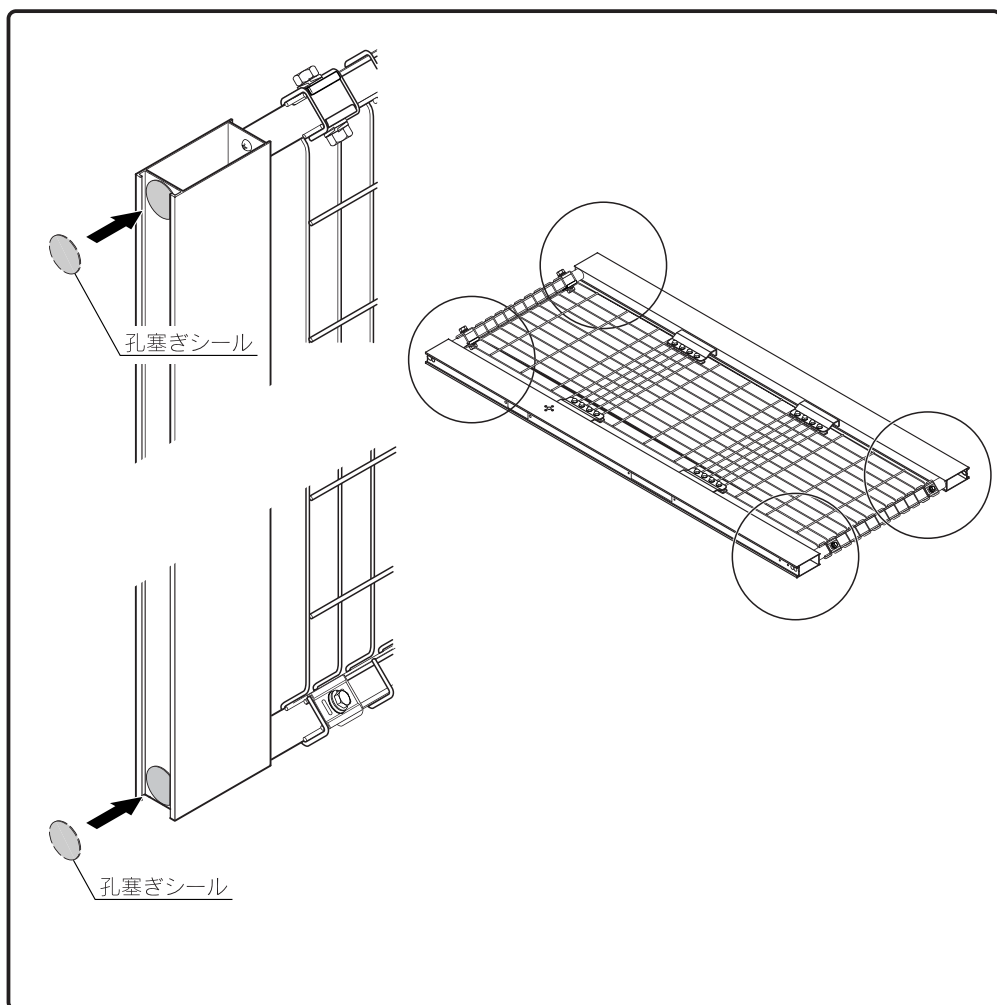
## 3) 落とし棒取付け孔塞ぎカバーの取付け (片開きの場合)



## 7 孔塞ぎシールの貼付け

### 1) 孔塞ぎシールの貼付け

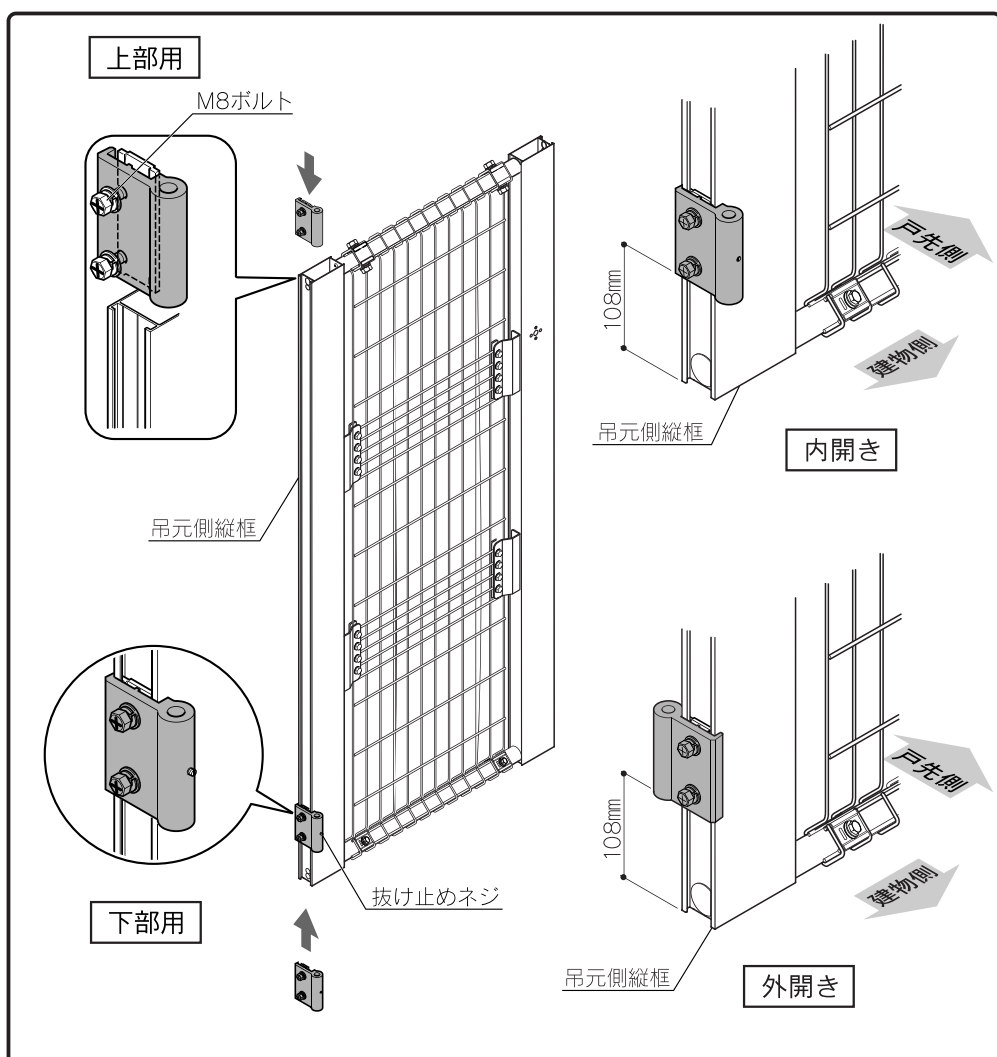
吊元側縦框、錠前側縦框、錠受け側縦框の上下部に孔塞ぎシールを貼り付けてください。



## 8 扉の吊り込み

### 1) ヒジツボの取付け

扉本体の縦框のミゾに上部用は上から、下部用は下からそれぞれ挿入し、上部は任意の位置へ仮止し、下部は縦框の下端から108mmの位置に固定してください。



ヒジツボには、上部・下部があります。下部用には抜け止めネジが付いています。

## 2) 扉の吊り込み



ヒンジシャフトは下部が長くなっていますので、下部のヒンジを先に挿入すると作業が楽に行えます。

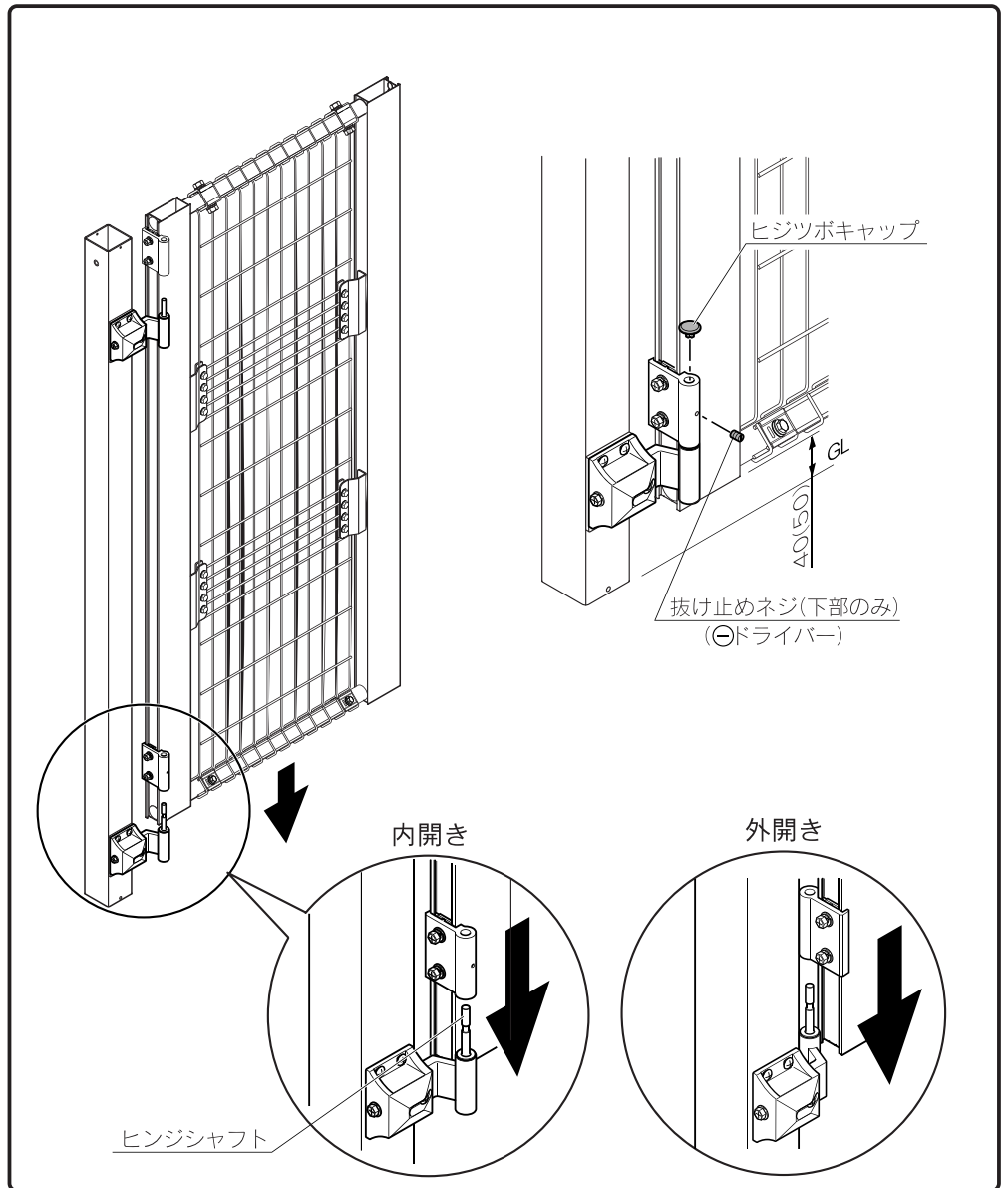


ヒジツボと持ち送りの向きに注意して取付けてください。

## 3) ヒジツボキャップ・抜け止めネジの取付け



縦框下部とGLがH:15の場合40mm  
H:18の場合50mmである事を確認してください。



## 9 戸当りの取付け



- 戸当りを取付ける前に外開き、内開き、を確認して戸当りの向きと位置を決めてください。
- 戸当りには錠の加工及び落し棒の加工がされておりますので、R.L勝手があります。あらかじめ決めてある勝手に従って取付けてください。

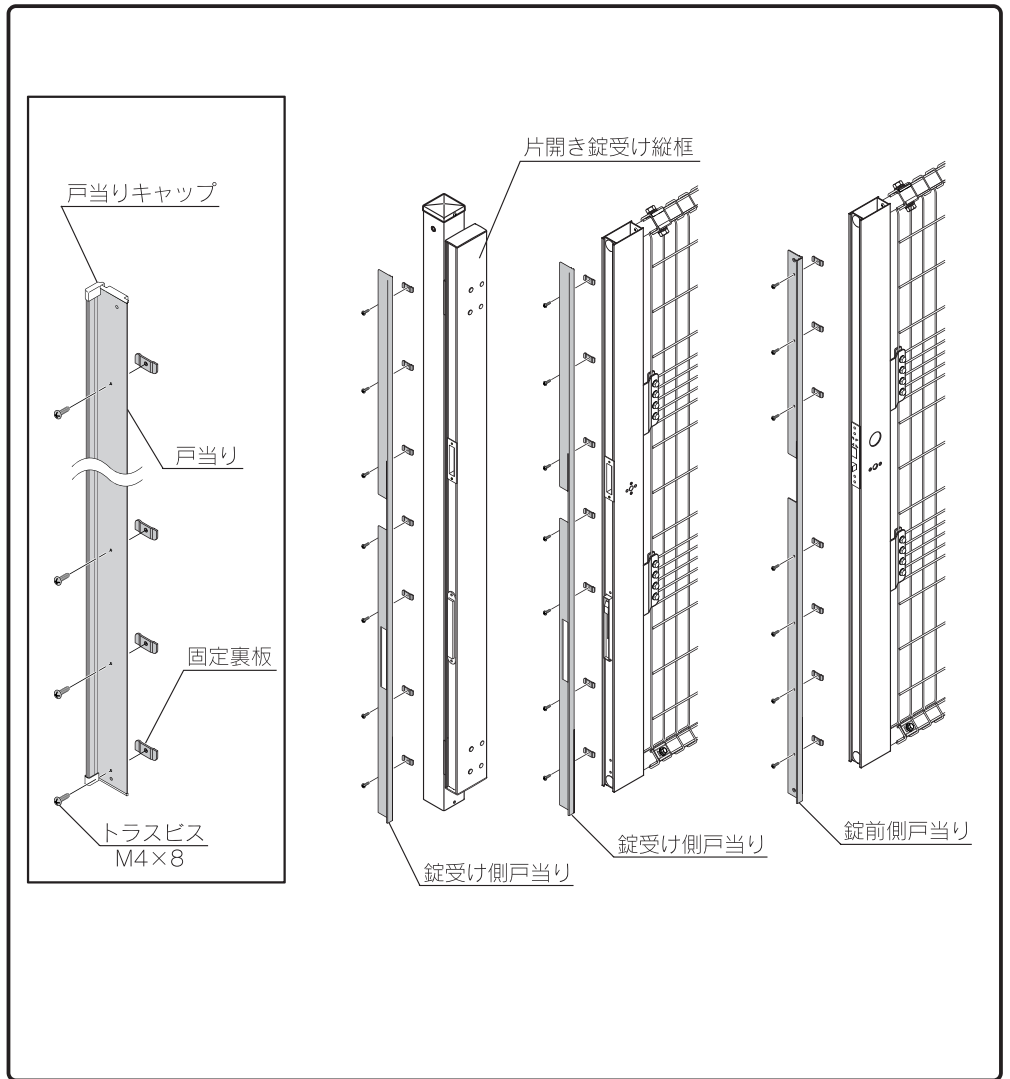
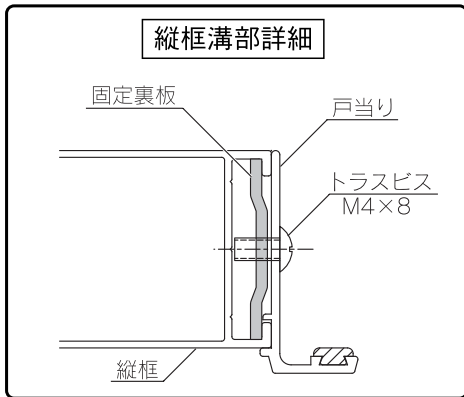
### 1) 戸当りの向きと位置の確認

右の表で戸当りの向きと位置を確認してください。

	外開き納まり	内開き納まり
片開き		
両開き		

## 2) 戸当り固定裏板の取付けと縦框への取付け

戸当りに戸当り固定裏板をM4×8トラスビスで仮止めしてから、縦框の溝部へ取付けてください。



## 10 ヒンジの調整

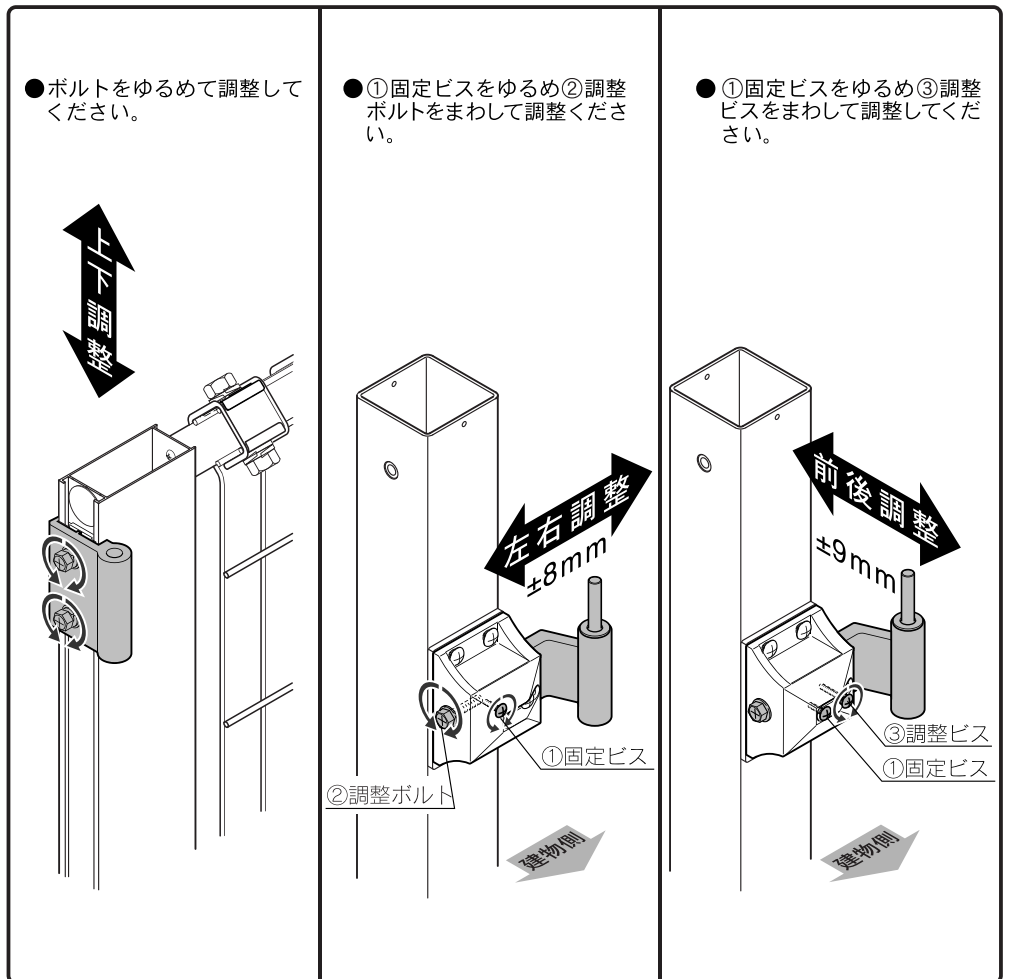
### 1) ヒンジの調整

戸当り・錠など、他金物取付け完了後に各基準寸法・扉の水準などがそろっているか確認・調整してください。

### 2) ボルト、ビスの締め込み

調整が完了しましたら固定ビスを締め込み、ヒンジを確実に固定してください。  
すべてのビス・ボルトが確実に固定されているか確認してください。

**!** 電気ドライバー等で作業を行わないでください。又、無理にボルト、ビスを廻さないでください。破損の原因となります。



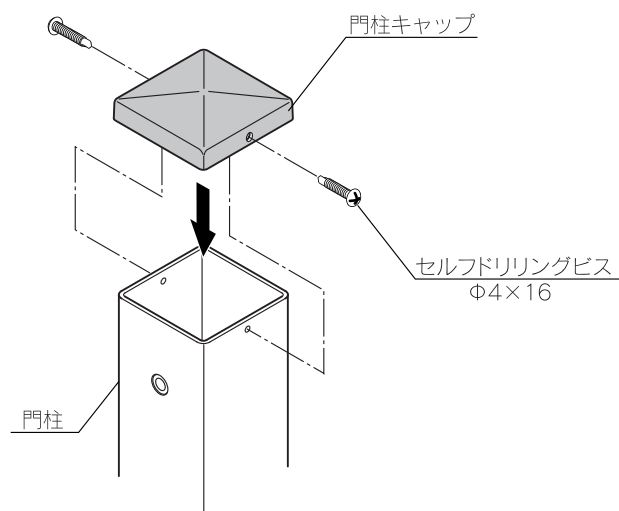
## 11 キャップ類の取付け

### 1) 門柱キャップの取付け

門柱に門柱キャップをΦ4×16セルフドリリングビスにて取付けてください。

### 2) 縦框キャップの取付け

門扉縦框及び片開き縦框にキャップを取付けてください。



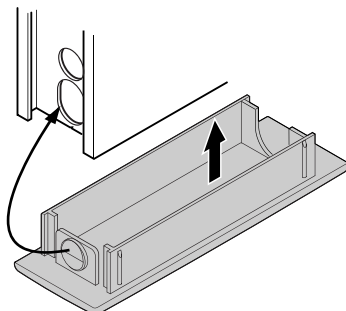
● 錠受け側縦框下部(落とし棒が付く框)にはキャップは付けません。

● キャップの取付けには、プラスチックハンマー等をご使用ください。

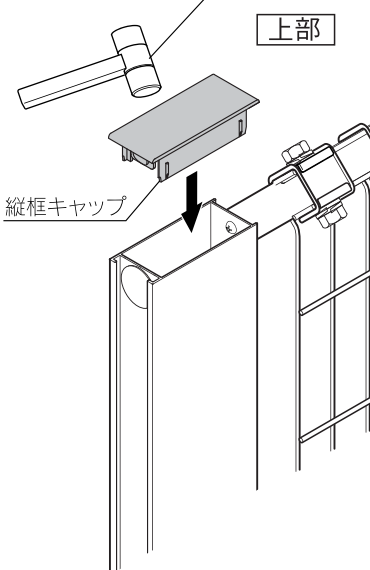


#### 取付部詳細

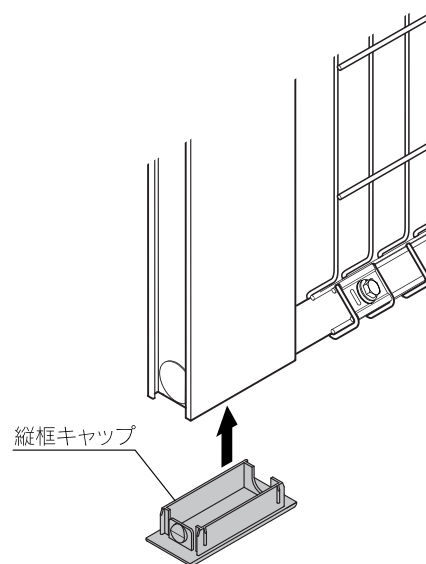
キャップの丸い突起部分を框の孔に入れる様に取り付けてください。



プラスチックハンマー



下部

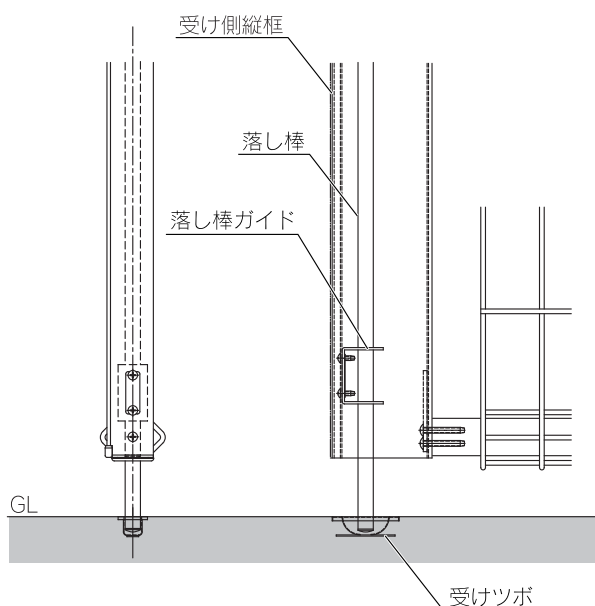


## 12 受けツボの施工

### 錠受け側

### 1) 受けツボの施工

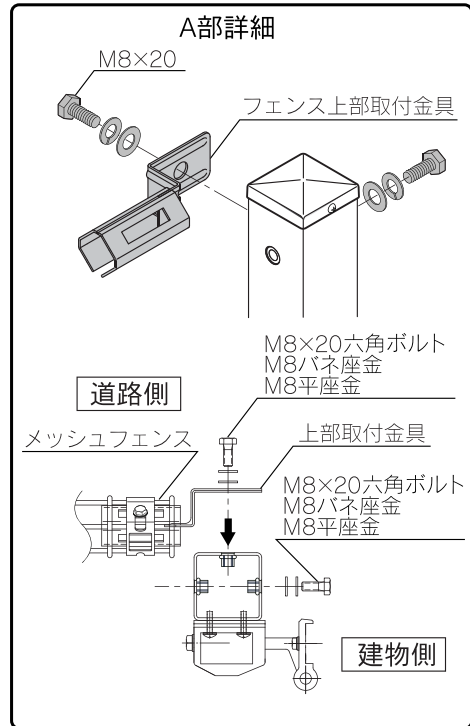
右図を参考に受けツボを施工してください。



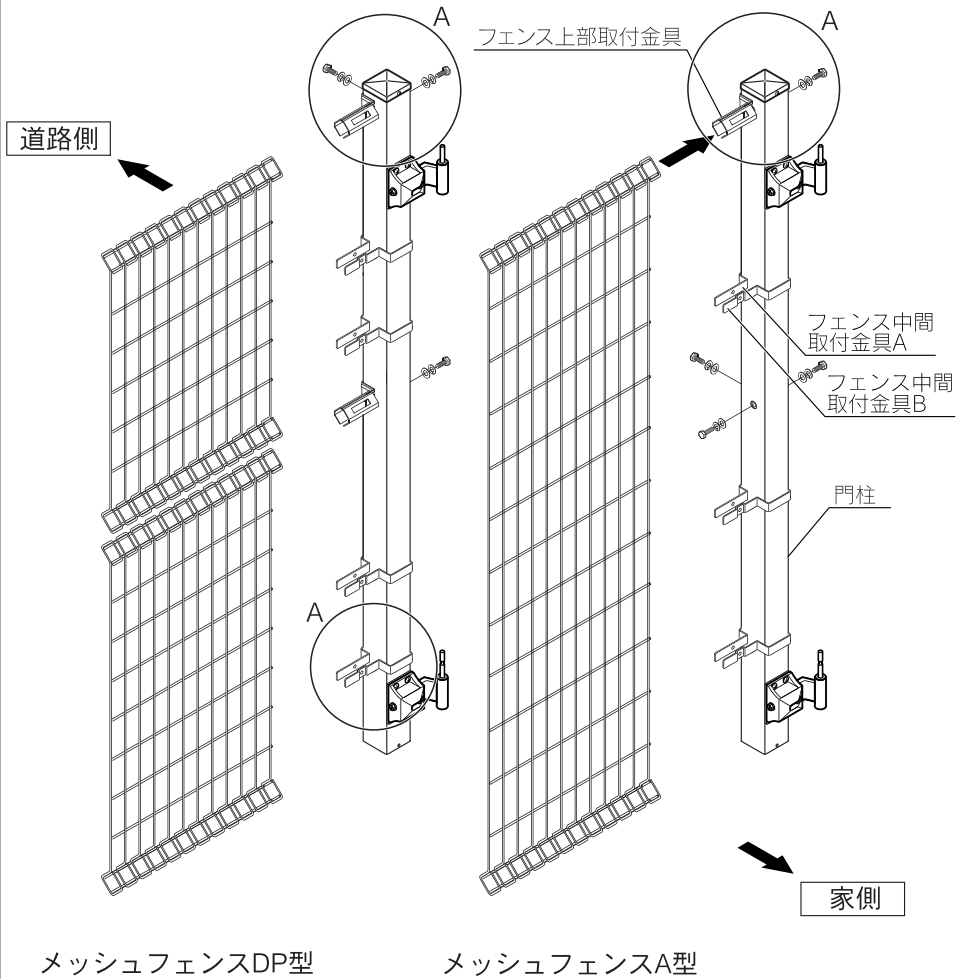
# 13 門柱へのメッシュフェンス取付け

1) フェンス上部金具の取付け  
門柱上部にフェンス上部取付金具を取付けてください。

H18:DP型は、フェンスが2段となりますので、2段分の金具を取り付けてください。金具の取付かない孔には、M8×20ボルト、バネ座金、平座金を取付けてください。



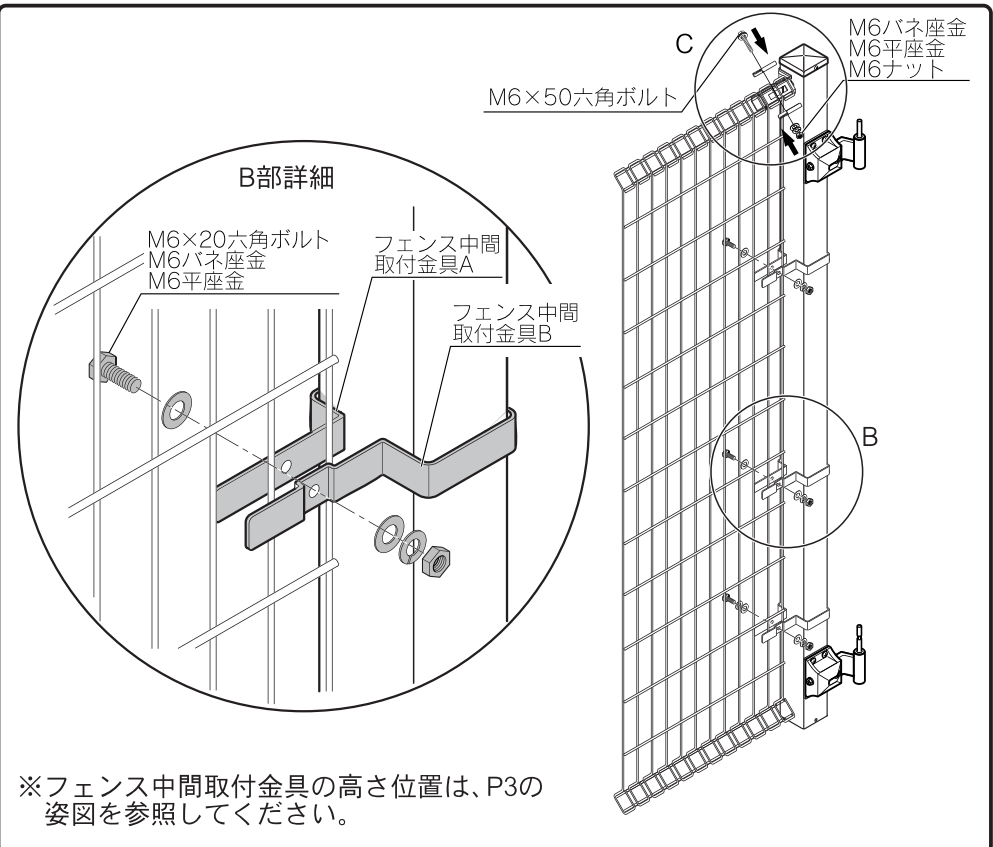
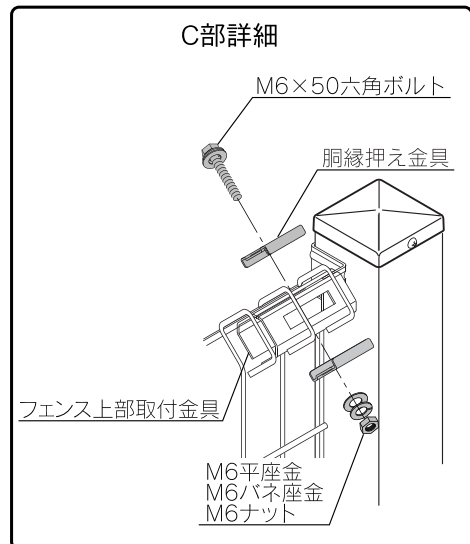
※本図のメッシュフェンスはA型、DP型ともH:18タイプを示します。



※フェンス中間取付金具、フェンス上部金具は、接続するフェンスの種類や高さによってあまる場合があります。(P3の姿図を参照願います。)

# 2) フェンス中間取付金具とフェンスの固定

フェンス中間取付金具AとBでメッシュフェンスを挟む様にボルト締めで固定してください。



※フェンス中間取付金具の高さ位置は、P3の姿図を参照してください。

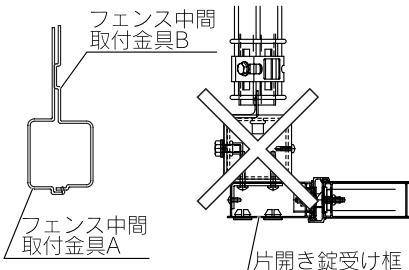
### 3) 入隅、出隅について

フェンスを入隅、出隅にする場合は、フェンス上部取付金具を柱に取付ける位置がそれぞれ異なります。右図を参考に取付け方向を確認して取付けてください。



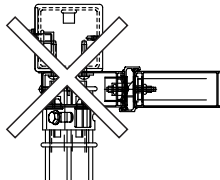
片開きタイプの戸当り側は、出隅、入隅とも対応不可です。

#### 入隅の場合

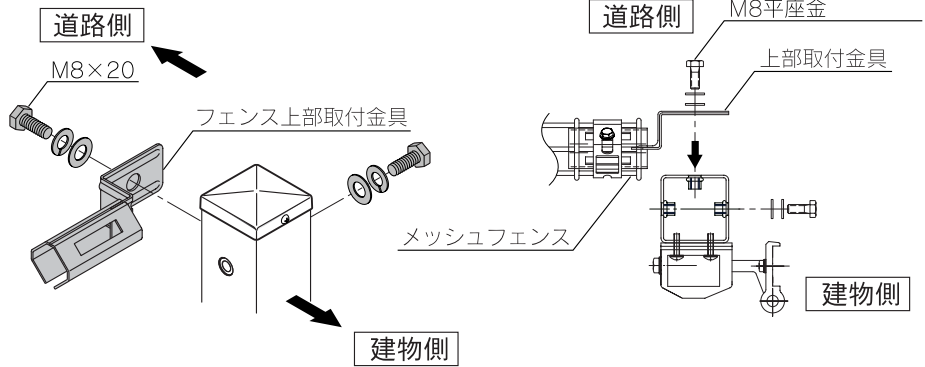


フェンス中間取付け金具A,Bが片開き錠受枠と干渉するため。

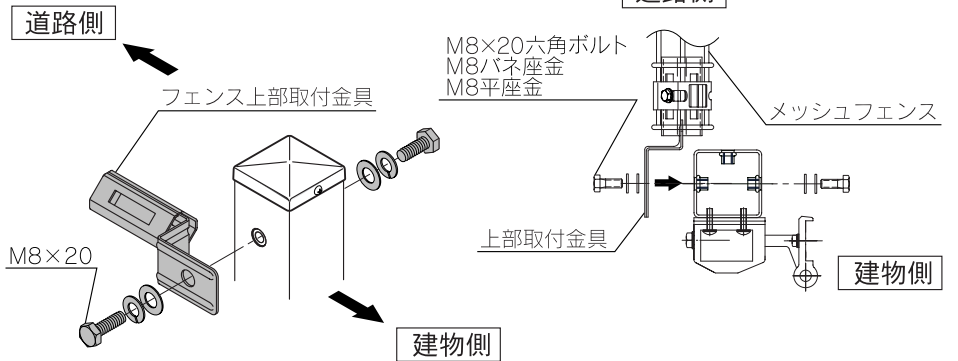
#### 出隅の場合



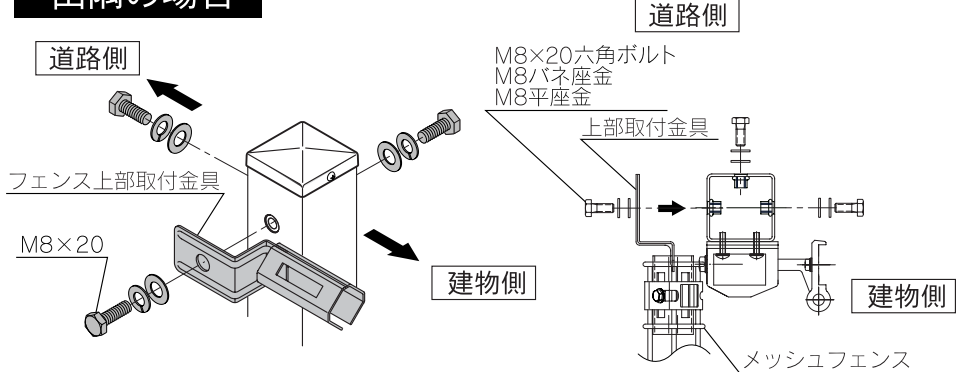
#### 通常の場合



#### 入隅の場合



#### 出隅の場合



※出隅納まりの場合、メッシュフェンスがヒンジに当たります。その部分は、メッシュフェンスを切断加工の上、別売の保護キャップを取り付けてください。

株式会社 LIXIL

商品へのお問い合わせは...

この商品についてのご質問やご相談は下記の窓口にお問い合わせください。

お客様相談センター

 0120-126-001